

コンゴ民主共和国の元子ども兵士ミシェルのお話を聞こう

～ぼくは5歳で兵士になった～

教材ガイドブック

NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン(以下FTCJ)の教材をダウンロードいただきましてありがとうございます。
このガイドブックでは、本教材を学校の授業などでご活用いただくにあたり、使い方などを記載しております。
ご質問等ございましたら、当団体までお気軽にご連絡お願いいたします。

■はじめに

財団法人日本青少年研究所が2009年に行った調査によると、子どもの5人に3人が「自分が参加しても社会は変わらない」という考えを持っているといえます。このデータから見て取れるように、子どもの多くが地域や世界の課題に対して「無関心」になってしまっている傾向があるといえます。当団体としては、幼少期の頃から、地域や世界の課題の解決に向けて取り組む場が少ないということが原因の一つとなっていると考えています。

課題解決に向けて行動するためには、まず問題を知り、考え、伝える力を持つことが大切だと考えています。この教材を通して、多くの人に児童労働や国際問題に関心を持っていただき、より良い世界をつくる一歩を後押しできると幸いです。

■教材のねらい

- 1、子ども兵士の事例を通して児童労働や国際的な課題を知る。
- 2、元子ども兵士ミシェルのお話を通して、生きていることの大切さ、ポジティブな想いの大切さを知る。
- 3、児童労働や国際的課題に対して「自分でもできることがある！」という気づきを得る。
- 4、自分の特技や好きなことを通じて国際協力に関わることができるよう、様々な活動事例を紹介し、活動の後押しをする。
- 5、自分の気持ちや考えを仲間と共有し、コミュニケーションを通じて課題解決の方法を模索する。また、児童労働という一つの課題に多角的にアプローチすることにより、論理的思考力を高める。

■教材概要

◇教材の種類:スライド(パワーポイントもしくはPDF資料)、ワークシート2枚、映像資料(3分半)

◇教材の説明:

1、スライド

構成:3部構成

- ① コンゴ民主共和国について(P2～11)
- ② 元子ども兵士ミシェルについて(P12～18)
- ③ アクションを考える(P19～27)

2、ワークシート

構成:2枚

- ④ ワークシート1(ミシェルの映像を見た後に使用)
- ⑤ ワークシート2(アクションを考える際に使用)

3、映像資料

ミシェルのスピーチ映像。約3分半。

※30分程度の映像もございますが、そちらは、有料にて販売・貸出をしております。(2012年7月販売開始)

■授業導入例

私たち日本人にとって2011年は忘れられない年になりました。未曾有の天災、大震災や津波を経験し、原発事故による放射能汚染という災害をも経験しました。そしてこの原発事故により私たちは、今までの生活や価値観を見直すことにもなりました。私たちが当たり前のこととして享受してきた便利で豊かな生活が、実は大変危ういものの上に成り立っていたという事実。今まで考えもしなかったことです。

でも、よく考えてみると、私たちが享受している便利で快適な生活が誰かの犠牲の上に成り立っているという例は、他にもたくさんあるようです。例えば、携帯電話やパソコンをはじめとする便利な電子機器。もはやこれらの電子機器の恩恵なくしては、私たちの日常生活は成り立たないかのような気持ちにさえなります。周りには常に新しい製品の情報が流れ、私たちはさらなる利便性を求めて、古いものを捨て新しいものに飛びつきます。しかし、これらの電子機器に使われているレアメタルが資源を保有する国々で紛争を引き起こし、今この瞬間にも多くの人々を苦しめているのです。これからご紹介するミシェルもそんな紛争に巻き込まれ、苦しんだ過去を持つ青年の一人です。ミシエルの苦しみは私たちとは無関係だと言い切れるでしょうか？ 一緒に考えて行きましょう！

■授業の進め方とスライドの説明

スライドに沿って授業を進めてください。

スライドにある※印は、スライドでは量が多かったり、説明が難しい情報を、下記のスライド説明にて補足説明として載せています。噛み砕いて伝えていただくなど、授業に併せて、説明したり、補足してください。

また、👉マークは補助ワークになります。授業と併せて実施をお願いいたします。

授業以外でも、調べ学習の宿題としてなど、ご活用ください。

◇参加型学習について(特にグループワークにおいて)：

たくさんの意見を引き出し、発表してもらうには、参加者が安心して考え、話せる環境を作ることが大切です。FTCJではワークショップを行うときなどに、最初に共通のルールを作り提示しています。ご参考にして下さい。

ルール例

- ①国のリーダーになったつもりで積極的に話そう
- ②相手の話すことをよく聞こう
- ③相手の意見を否定しないようにしよう

スライド説明：

① コンゴ民主共和国について(P2~11)

スライド2:コンゴ民主共和国の位置 ※アニメーションあり。答えが出ます。

→国の位置を当てましょう。難しい場合、アフリカ大陸などヒントを出してあげましょう！

スライド3:コンゴ民主共和国の説明

→スライドの通り

スライド4、5:コンゴ民主共和国クイズQ1

→スライドの通り

スライド6、7:コンゴ民主共和国クイズQ2

→スライドの通り

※補足説明: 私たちが使う携帯電話、パソコン、ゲーム、テレビ、デジカメ、ハイブリッド・カー等にはレアメタルと呼ばれる鉱物資源が使われています。レアメタルには様々な種類のものがありますが、コンゴで産出される資源には、スズ・コルタン・コバルト、亜鉛、銀、銅、タングステン、ウラン、石油、天然ガスなど31種類に上ります。

スライド8:プレステーション紛争

→スライドの通り。このスライド自体が補助ワークにもなります。

授業の流れや時間に併せて簡単な問いかけだけで問題ありません。

※補足説明:プレステーションで遊ぶのかなという問いに加え、調べ学習もしてみませんか？

問いかけ例: 🗺️他に身の回りにコンゴ民主共和国で産出される資源と関係のある製品はあるでしょうか？

調べてみよう！ これらの製品なしで皆生活できるかな？

スライド9、10:コンゴクイズQ3

→スライドの通り

スライド11:コンゴ民主共和国の歴史

→参考資料です。配布したり、簡単に説明するなどでご活用ください。

② 元子ども兵士ミシェルについて(P12～19)

スライド12:ミシェル写真

→ここからは、コンゴ民主共和国で生まれた少年ミシエルの事を考えてみましょう、コンゴにおける国際問題の1つ子ども兵士について考えてみましょう などといった呼びかけをしてみてください。

スライド13:ミシエルのプロフィール ※アニメーションあり。ドラムが揺れます。

→スライドの通り

スライド14:ミシエルのスピーチを聞いてみよう

→別教材の映像資料(約3分半の短い映像です。)を流して下さい。

スライド15:個人ワーク1 ※ワークシート1使用

→ワークシート1を実施下さい。一度に記入するには多い場合、時間で区切るなどお願いします。

スライド16:グループワーク1

→ワークシート1で記入したことを、グループになって発表してください。

その際、◇参加型学習 を参考に、ルールなどを設けるなどして、確認してください。

スライド17、18:子ども兵士について調べてみよう！①、②

→ワーク1を終えて、子ども兵士についてもっと知ろう！ということのを促したうえで、スライドの説明を開始してください。

※補足説明

※1 子ども兵士の中には、家族や親しい人の復讐のために敵対する軍隊へ自ら入隊を希望する子どももいます。

※2 恐怖心をなくしたり、脱走を防ぐために、薬物を投与されるなどしています。中毒症状に陥らせるケースも報告されています。

※3 軍隊によっては仲間や肉親の殺害や身体の切断を強要されるなど惨忍な任務につかされることもあります。

※4 女の子たちの多くは、上官から所有物とみなされ、性的虐待を受け、望まない結婚や妊娠、HIV/AIDSなどの感染の危険にもさらされています。

③ アクションを考える(P20～28)

スライド19:個人ワーク・グループワーク2 ※ワークシート2使用

→スライドの通り。

ワークの最後に、全体発表もいくつかのグループでしてみましょう！

アイデアが出てこない場合、参加者の好きなことを聞いて、そこに結びつけたワークを考えられるよう促して下さい。グループでの話し合いでは、グループ全員で1つの事を考えても良いし、個人の意見にアドバイスし合い、個人のアクションを具体化するのでも良いです。参加者に併せて実施して下さい。

スライド20:FTCJのアクションとは？

→ワーク2 を開始する前、もしくは、途中にご説明ください。イメージが膨らみます。

スライド21:FTCJの説明

→12歳の少年が立ち上げた団体で、創設者クレイグはノーベル平和賞に3回ノミネートされています。

当団体では12歳の子どもが創設者なので子どもが行動することを大切にしています。

「子どもでもできることがあるんだ！子どもだからこそできることを考えよう！」という意識付けをお願いします。

スライド22—26:FTCJの子どもメンバーチームの説明

→FTCJにある子どもチームをピックアップして紹介しています。

アクションの例示に使ってください。

その際に、「好きなこと、得意なこと、興味のあること」と「国際問題」を結びつけてアクションを起こしていることに着目させるよう促してください。

スライド27:ワーク2の説明再掲

→記入例:◇サッカー等スポーツが好き、得意=チャリティーゲームを開催して、

参加費を発展途上国へ寄付をする

◇手芸が好き、得意=エプロンや巾着などを作って、文化祭で販売して売上金を寄付する

◇その他:年末年始に、年賀状の書き損じハガキを集めて寄付をする

チャリティーバザーを開催する、国際問題についてもっと調べてみる

勉強会を開催する

など

授業後に、この問題についてさらに関心を深め、もっと知りたい！もっとアクションを起こしてみたい！という声が集まりましたら、国際理解が進む、FTCJの他の教材をご活用いただいたり、FTCJへメンバー登録をご案内ください。

■フリー・ザ・チルドレン・ジャパンとは

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンは、「子どもによる、子どものための」国際協力団体として、「Kids Can(子どもだからこそできるんだ)！」を合言葉に、子どもによる国際協力活動を推進しています。貧困に苦しむ子どもの解放と、子ども活動家を育成し「子どもは無力だ」という考えから解放する、という2つの目的に向け、日々事業を運営しています。

「子ども」にこだわる背景として、Free The Childrenは1995年、貧困が原因で働かざるを得ない過酷な環境にいる途上国の子どもの存在を知った、当時12歳のクレイグ・キールバーガー少年によってカナダにて設立された団体である、ということがあげられます。団体創設者が12歳の少年だったこともあり、子ども自身が行動することを大切にしています。その後、日本では1999年に日本支部として団体を発足させました。現在では、多くのメディアや、教科書にも取り上げていただいています。クレイグについて詳しくはこちら⇒http://www.ftcj.com/about/history_ftc.html

FTCJの事業内容は、国内・海外の大きく2つに分かれています。

【国内事業】では、貧困から子どもを解放するため、世界の貧困の現状や、日本にいる私たち、特に子どもに何ができるかということを伝え、子どもメンバー自身がアクションを起こせるようリーダーシップトレーニングを実施したり、子どもによる国際協力活動をサポートするなどを行っています。また、政策提言活動に子どもメンバーが関われるようキャンペーンを実施するなどしています。

【海外自立支援事業】では、貧困農村の自立支援や、文通プログラムを通じた現地の子どもの支援などを行っています。国内の子どもが活動をして集めた資金がこの自立支援に繋がっているのも、大きな特徴の1つです。

事業内容の詳細はこちら⇒<http://www.ftcj.com/activity/index.html>

■FTCJの教材紹介

◇ 資料・ゲーム

「児童労働」を紹介できるパネルや、ゲームを通して理解できるカードゲームを貸出／販売しています。

文化祭や、展示会など、色々なイベントで展示して、世界の子どものことを、世界の子どものことを深く理解してもらおう！国際問題を理解する授業でカードゲームを活用するのもお勧めです！

詳細はこちら⇒http://www.ftcj.com/youcan/know_texts.html

◇映像資料

国際問題を理解し、FTCJの具体的な取り組みを知ることによって一歩行動を起こすのに最適な教材です。

- ・児童労働の実態を学ぶ ・支援先の国の現状を詳しく学ぶ
 - ・クレイグが12歳の時に起こした行動を学び、子ども達のエンパワーメントに繋げる
 - ・WeDayの映像を通して、ボランティア活動のきっかけを作る
- など、様々な種類の映像資料をご用意しています。

詳細はこちら⇒http://www.ftcj.com/youcan/know_videos.html

◇FTCJ書籍

児童労働・子どもの権利って何？本を読んで知ろう！

FTCJから購入いただく場合、売上の2割がFTCJの支援事業に役立てられます。

詳細はこちら⇒http://www.ftcj.com/youcan/know_books.html

■FTCJ出張講演のご案内

FTCJでは、小学生から社会人まで各年齢に応じたプログラムを提供しています。

貧困などの原因で権利を奪われている世界の子ども現状をより身近に感じ、日本にいる方々が自分にできることを考え行動するきっかけの場を提供します。また、出張講演後も、メール等で参加者や先生方に問題への様々なアプローチ方法を紹介し、今すぐできることを参加者が考えられるように情報提供します。

総合学習の時間、国際理解の時間、人権問題の一環、NPOの理解など、様々なシーンでお役立てください！

詳細はこちら⇒http://www.ftcj.com/youcan/know_speakers.html

■子どもメンバー及び学校のグループ登録(無料)のご案内

日本でもたくさん子ども達がメンバーとなって活動しています。(2012年5月現在約400名の登録あり)

子どもメンバーはとても主体的にアクションを起こし、FTCJチームに所属して活動もしくは、個人活動をしています。

ぜひ、周りにいる子どもや若者のみなさんに、FTCJの活動をおすすめいただけましたら光栄です。

詳細はこちら⇒http://www.ftcj.com/youcan/member_child.html

学校にグループを作り、文化祭で活動したり、勉強会の開催を行なっている学校もたくさんあります。

学級費用を使って、クラス単位で、支援に直接つながる文通プログラムに参加されているグループもあります。

メンバー登録はすべて無料です。ご登録頂くと、FTCJから様々なイベント情報をお送りしています。

また、グループ担当の先生・サポーター専用のメーリングリストで情報交換や、気軽に質問などを行うこともできます。

子どもからの登録が多いですが、先生主導によりメンバーやグループのご登録もいただいております。

ぜひ、奮って活動にご参加ください。

詳細はこちら⇒<http://www.ftcj.com/shozoku/school.html>

■アンケートにご協力お願いします。

この度は教材をご利用いただき、ありがとうございました。

今後の教材開発やこの教材の改善に活用させていただきますので、お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

アンケートはこちらからダウンロード(<http://www.ftcj.com/youcan/kyouzai/Michel/questionnaire.pdf>)いただくか、

アンケートフォーム(<https://ws.formzu.net/fgen/S86500675/>)よりご記入をお願いいたします。

アンケート送付先:FAX: 03-6321-8948 Email: info@ftcj.com

今後ともフリー・ザ・チルドレン・ジャパンをどうぞよろしくお願いいたします。

以上